



未来志創

よし! 廣晴らう!



次に皆さんに会うのは4月かもしれない…とと思っていましたが、今日皆さんに会うことができ、とても嬉しいです。休業中、どのように過ごしていましたか。「楽しくて仕方がない」という人もいれば「1日ってこんなにも長いのか…」と感じた人もいたのではないのでしょうか。学校生活という当たり前の日常も、いざ突然の休校となると、寂しさを感じるものです。そんな中での今日からの再開です。修了式まで1週間ほどですが、仲間と笑い合い、学び合える時間を大切にして過ごしてくれると嬉しいです。

見えないところでベストを尽くす

目黒雅叙園のベルスタッフ・Yさんから聞いたエピソードを紹介しましょう。

名のあるホテルにはコンシェルジュがいます。あるホテルのコンシェルジュに聞いたことがあります。

「コンシェルジュって、そもそも何？」

すると、粹な答えが返ってきました。

「ノーと言わない職業ですよ」

どんなに困難と思われるリクエストでも、すぐには「ノー」と言わず、ベストを尽くすことがスピリッツだということです。

ある日のことです。Yさんは、結婚式の披露宴に列席しているお客様から声をかけられました。

「急に二次会をすることになって、7時から、この近くのお店を手配していただけますか」

時計を見ると、まもなく午後6時になろうとしていました。

(これは大変だ!)

その日は土曜日で、数日前からでも店の予約が取りにくいのです。

リクエストを伺いました。人数、予算、お店の雰囲気など。そして大至急、ベルスタッフの仲間を招集しました。候補の店を選び、手分けをして電話をかけまくります。

やはりというか、どこも満員。時間は迫ってきます。焦ります。そんなとき、JR目黒駅近くに、要望通りのお店が見つかりました。

というよりも、お店に少々無理を言って引き受けていただいたのでした。ベルスタッフたちはオフの時間に、目黒雅叙園の近辺を散策したり、ぷらっと喫茶店やレストラン・居酒屋に入ってリサーチし、仲間でその情報をファイリングにして共有していたからです。

それが生きたのです。さらに、無理を聞いてもらえるお店を作っておいたことも役立ちました。

午後10時。業務が終わり、ベルスタッフらと駅へ向かう途中、先ほどのお客様が頬を紅く染めて、楽しげにそのお店から出て来られるのを見かけたそうです。

Yさんは本当に、「ノー」と言わなくてよかったなあと、この上ない幸せを感じたと言います。

じつは、目黒雅叙園にはコンシェルジュがいません。でもスタッフ全員がコンシェルジュなのです。そして、お客様の見えないところで、ベストを尽くしているのです。

『みんなで探したちょっといい話』(志賀内泰弘)より

休業期間中は、一人で過ごす時間が長かった人もいたことと思います。過ごし方を自分で決める多くの時間、何をして過ごしていたでしょうか。「学習をする」「トレーニングをする」「読書をする」「テレビを見る」「趣味を楽しむ」「ゲームをする」「漫画を読む」「思いっきり寝る」…いろいろな過ごし方ができたのではないのでしょうか。誰にも見られない時間に、人知れず何かしら努力を続けていた人は、自分でも気付かないうちに、力がついているかもしれませんね。